

川口の教育



【 安行中学校 令和7年度学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰）に係る表敬訪問 】

第681号

【目次】

教育随想①	「あふれる感謝の思い～様々なご縁を感じて～」			
		川口市立芝西小学校長	山田 晴美	・・・(2)
教育随想②	「見えない仕事」	川口市立芝中央小学校長	佐藤 元康	・・・(2)
教育随想③	「教育が人をつくる」	川口市立戸塚西中学校長	功刀 幸代	・・・(3)
教育随想④	「しくじり先生」	川口市立芝西中学校長	曾山 武寿	・・・(3)
指導の手引	令和7年度川口市児童生徒の体格と新体力テストの調査結果			
	川口市教育局学校教育部指導課 指導主事	三宅 穰世		・・・(4, 5)
私の教育実践	「児童の意欲を喚起する『総合的な学習の時間』授業実践～外部人材を活用した体験活動を通して～」			
		川口市立新郷小学校教諭	齋藤 尋	・・・(6)
教育ルポ				・・・(7)

2 月号

—令和8年—

<教育随想>

「あふれる感謝の思い～様々なご縁を感じて～」

川口市立芝西小学校長 山田 晴美



私は、中学校入学と同時に川口市に転居してきました。縁あって、教師としての第一歩を川口市で迎えることができたことを大変嬉しく思ったものです。あれから37年、川口市の小学校で36年間の教員生活を送ってきました。

私が採用されたのは平成元年、現行の初任者研修制度が始まった年でした。初任校の前川東小学校では、教科指導・生徒指導・保護者対応・校務分掌等、多くのご指導を賜りました。中でも、「社会科」との出会いは自分の中で軸となり、その後の教員人生に大きな影響を受けることとなりました。「一つの教科を研究することで、他の教科にもつながってくる」、当時の校内指導担当の先生から言われた言葉です。本当にその通りでした。その思いは経験を重ねていくうちに、実感を伴ったものとなりました。今では私が、若い人たちにその言葉を掛けています。

社会科を研究する中で、小学校3・4年生が使用する副読本「かわぐち」と教師用指導資料集の編集に携わる機会をいただきました。フィールドワークを通して地域を知り、人々とかかわることで、より地域の魅力を感じることができました。私は、副読本「かわぐち」を、自分の住んでいる川口市が素敵なおところであることを感じながら学ぶことができる、誇れるものだと思っています。子どもたちが、自分たちの地域に愛着をもち、誇りをもてるような学びにつながることを願っています。かつて、埼社研で「いもの工場の仕事」を授業公開したことがあります。地域の鋳物工場や川口市鋳物工業組合の方々の多大なるお力添えを得て、一人一人が鋳物の文鎮を作ったり、ゲストティーチャーとして関わっていただいたりと授業を実践することができました。その他の単元でも同様に、地域の方々のご支援により深い学びにつながりました。

2・3校目では、縁あって同じ校長先生にお世話になりました。県指導資料の編集や小中連携で市委嘱研究発表を行うなど、視野を広げる経験となりました。

校長として勤務した2校では、3つのワード「元気」「笑顔」「やる気」を学校のキャッチフレーズとしてきました。常に私自身もこのワードをベースにしなが、教職員の皆さんと子どもたちの育成に取り組んできたつもりです。これからも、自身のモットーとして歩んでいきたいと思っています。

結びに、これまで多くの場でご一緒させていただいた皆様にご縁を感じ、ご指導・ご支援くださったことに感謝とお礼を申し上げます。心よりありがとうございます。ありがとうございました。

「見えない仕事」

川口市立芝中央小学校長 佐藤 元康



今から38年前、私の教員生活は、この川口市から始まりました。

初めての出勤日は大雪で道路が渋滞、当時は携帯電話もない時代だったので、学校へ連絡することもできず、出勤時刻を過ぎての学校到着という慌ただしいスタートだったことを思い出します。そこから38年間、途中6年間は他市でお世話になりましたが、この川口で多くの先生方、児童、保護者・地域の方々を支えられ、本市の教育に携わることができたことは、この上ない幸せでした。本当にありがとうございました。

長い教員生活の中で、たくさんのことを教えてもらいました。その一つ一つが、自分を成長させてくれた大切な教えでした。その中で、私がずっと「こんな働き方ができたら・・・」と思っている思いがあります。

それは、初任者の時、赴任した小学校の校務員さんから教えてもらったことです。その頃は今とはだいぶ違い、放課後、一緒に作業をさせてもらったり、休みの時には釣りに連れて行ってもらったりしました。ある時、仕事について話がありました。こんな話です。

仕事には、「見える仕事」と「見えない仕事」がある。若いうちは、いろいろな経験を積み、仕事をしっかりと覚えることが大切で、周りの先生方の仕事（見える仕事）を見て、自分でもできるようになることが大切だ。そして、仕事に余裕ができてくると、「これをするためには、その前にしておかなければならないことがある。」と考えることができる。布石を打つということである。

また、「これをしておけば、よりよくなる。」と考えることができる。それを、自分のできる範囲で、布石を打っていくことが、「見えない仕事」である。これができるようになることが、第2段階である。そして最後は、周りの人が行っている「見えない仕事」を見えるようになれば一人前であるという話でした。

振り返ってみると、自分はどこまでできたかは疑問です。今でも、「後で・・・」と思っていたことを、誰かがやってくれていることもあります。一人前まではまだまだです。学校という組織では、たくさんの「見えない仕事」で支えられていることを改めて考えさせられます。

3月に教員としての節目を迎えるにあたり、最後まで、「見えない仕事」にも「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えられるよう務めていきます。

3月に教員としての節目を迎えるにあたり、最後まで、「見えない仕事」にも「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えられるよう務めていきます。

<教育随想>

「教育が人をつくる」

戸塚西中学校長 功刀 幸代



23年前、ハローワークで見つけた仕事が神根中の理科の非常勤講師でした。何も分からないまま飛び込んだ教育の世界。これまでの経験とは全く違う教員という仕事に、正に「はまった」という言葉がぴったりなほど熱中し、子育て中の娘たちに対する気持ちも大きく変化したことを覚えています。

40歳を過ぎて採用試験に挑戦し、思ってもいなかった管理職のお誘いにも「これまでの自分の経験や考えが人の役に立つならば」と一大決心。大きな決断に迷うこともありましたが、周囲の方々の助けを借りながら、自分なりの「教師像、管理職像」を目標に頑張っ

て歩いていくことができました。学校現場にパソコンが導入され、生徒個人がタブレットで学習する時代が、私が思い描いていた学校の未来に近く、管理職のタイミングでGIGA教育に携われたことや、教育課程の再編成、生徒の多様化による新しい学校経営への挑戦など、私自身にとってとてもやりがいのあるものでした。

なぜこれほどのエネルギーが出せたのかと振り返った時、それはこれまで出会った多くの先生方の教育に対する毅然とした姿勢に心打たれたこと、また様々な場面で、生徒、保護者、地域の方々からいただいた前向きで温かい言葉が私の原動力であったと確信しています。

「教育が人をつくる」これは私の教育信条です。幼少期からの学びの過程において、どのような人と出会いどのような環境で学んできたかで、人生に対する心の土壌が様々な形作られ、価値観も大きく変わることに、そのことを意識して自らも努力すれば大きな充実感が期待できることを、私は教師となり子供たちと接する中でひしひしと感

じることができました。数多くの方々との出会いから貴重な経験をさせていただき、自分自身の人生観が前向きに変わったと実感できることは本当に幸せなこと

「しくじり先生」

芝西中学校長 曾山 武寿



私はしくじり先生である。しくじりの始まりは、中学受験。私立中学校を3校受験し、全部落ちた。高校受験も私立を3校受験し全部落ちた。大学受験は私立を3校

国立を1校受けて全部落ち、浪人。浪人時も国立、私立合せて10校落ちた。大学4年時、東京の教員採用試験も落ち、私立高校で2年間働いた。

やっとの思いで、私が公立中学校の教員になったのは35年前。この35年間で、特に思い出深いのは、3校目に赴任した学校での日々である。その学校は、生徒指導に課題があるとして、県内でも有名だった。始業式での生徒の様子を見て、今までの指導では、まるで通用しないと感じた。生徒たちは、「自分なんてどうでもいいや」と投げやりだった。私は、しくじっても自分を信じ、あきらめず取り組んだ経験から、生徒の「自分を大切に

する心」を育てたいと思った。そこで私は、生徒全員が分かる、参加できる授業をつくり、行った。何度も失敗したが、あきらめなかった。すると生徒たちが「自分もできる。自分もこうなりたい」と自己肯定感を高揚させていった。自分の事や周りの人を大切に

する生徒に育った。学校も変わった。多くの仲間と助け合い、チームとして学校を変えた感動体験。これが私の管理職を目指すきっかけとなった。管理職試験を受け始めたが、やっぱり私はしくじり先生だった。教頭試験は4回、校長試験も8回落ちた。「夢をかなえる人は夢をあきらめない人」という言葉を胸に挑戦し続けた。また、教頭での多くの経験が私の学校経営方針を練る材料になった。そして、9年目で執念の合格。この経験を学校経営・運営研修会で、「しくじり先生」と題して話をした。これを今までご指導いただいた多くの方々へのお礼と後進へのエールの一つとした。校長としての3年間、「夢実現」を合言葉に、生徒も教職員も大切に、誰一人取り残すことのない学校経営を目指した。毎日の教室訪問や学校行事、学年行事等の一つ一つが楽しくてたまらな

なかった。しくじりながら生徒に学び、最高の教員人生、管理職人生が過ごせた。これからも、たくさんしくじりながらも、あきらめず頑張っていきたい。私に関わっていただいた、すべての方々に、感謝申し上げます。

令和7年度 川口市児童生徒の体格と新体力テストの調査結果

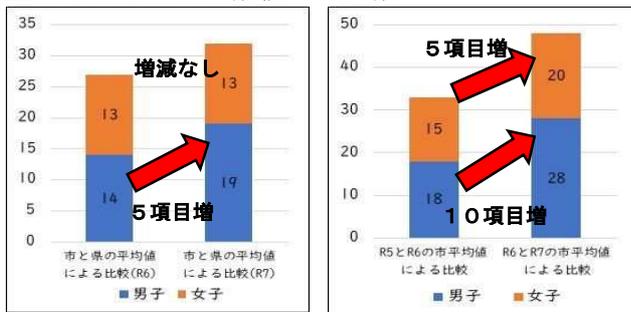
川口市教育局学校教育部指導課
指導主事 三宅 穰世

1 新体力テストの結果より

令和7年度、本市児童生徒の新体力テスト結果は、次ページ「新体力テスト平均値の調査結果(表2)」の通りである。結果と分析の一部については以下の通りである。

(1) 小学校の結果(男女各48項目)

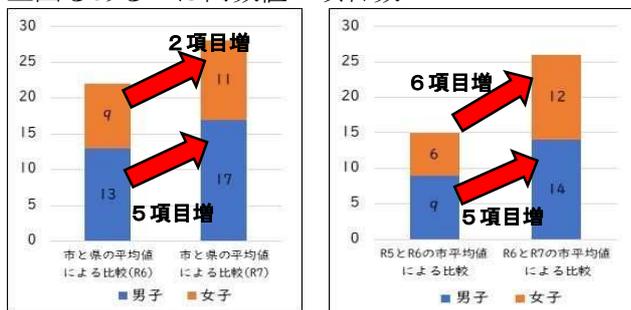
○市平均値と県平均値による比較(R6, R7)、市平均値による比較(R5とR6, R6とR7)をし、市平均値が上回るあるいは同数値の項目数



- 男女の「上体起こし」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、全学年でR7県平均値を下回った。

(2) 中学校の結果(男女各24項目)

○市平均値と県平均値による比較(R6, R7)、市平均値による比較(R5とR6, R6とR7)をし、市平均値が上回るあるいは同数値の項目数



- 男女の「持久走」「50m走」において、多くの学年でR7県平均値を下回った。

(3) 総合評価(A+B+C)の割合

県目標値	小学校 85.0%	中学校 88.0%
R7市	小学校 75.8%	中学校 79.9%
R7県	小学校 76.8%	中学校 80.4%
R6市	小学校 75.3%	中学校 79.8%

2 体格調査の結果より

本市児童生徒の体格は、表1の通りである。令和7年度は、身長、体重ともに多くの学年において、昨年度の全国平均値を上回った。

3 考察

1の結果より、R7市平均値が上回る項目数が増加していること、総合評価(A+B+C)の割合が小中共にR6より微増していることから、本市児童生徒の体力は、上昇傾向に向かっている様子が伺える。これは各校での取組の成果の表れであると考えている。

しかし、R7市平均値がR6市平均値を上回った項目数の割合は「小学校(男子:58% 女子:42%) 中学校(男子:58% 女子:50%)」であり、表2の結果からもわかるように、依然として、全身持久力、スピード、筋力、投力の低下が市全体としての大きな課題である。そこで引き続き、以下のような取組が必要であると考えている。

- 小学校における「投の運動(遊び)」の低学年からの積極的な取扱い。
- 様々な体の動きを身に付けられる体づくり運動で取り扱う教材の工夫。

4 今後に向けて

各学校においては、本市の結果を捉えたうえで、**各校の体力の実態の正確な把握に努め、課題に対する手立てを講じる必要がある。**

特に以下の2点については、確実に取り組んでいただくようお願いしたい。

各校の新体力テストの実施時には、児童生徒一人一人に前年度の結果をもとに目標をもたせたり、各種目の目安の記録を定めたりするなどして、児童生徒一人一人が少しでも体力の向上を実感できるように取り組んでいただきたい。

そして同時に、県・市が掲げている「運動好きな児童生徒の育成」に向け、体育授業を充実させ、**授業における児童生徒一人一人の活動時間(試行回数)の確保に努め**、本市の体力が向上に向かうよう取り組んでいただきたい。

表1 令和7年度川口市児童生徒の体格(身長・体重)の平均値

性別	項目	年度等	小学校						中学校		
			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生
男子	身長 cm	R7市	117.1	123.0	128.6	134.3	140.1	146.7	153.9	161.3	166.2
		R6国	○ 116.7	○ 122.6	○ 128.5	○ 134.0	○ 139.7	○ 146.0	○ 154.0	○ 161.1	○ 166.1
		R6県	○ 117.2	○ 122.7	○ 128.7	○ 134.4	○ 139.9	○ 146.1	○ 153.7	○ 161.0	○ 166.3
	体重 kg	R6市	○ 117.0	○ 122.9	○ 129.0	○ 134.4	○ 140.2	○ 146.6	○ 154.0	○ 161.3	○ 166.1
		R7市	21.8	24.6	27.8	31.8	36.1	40.8	45.8	50.6	55.4
		R6国	○ 21.4	○ 24.2	○ 27.6	○ 31.2	○ 35.2	○ 39.6	○ 45.3	○ 50.5	○ 55.0
女子	身長 cm	R6県	○ 21.6	○ 24.4	○ 27.8	○ 31.7	○ 35.3	○ 39.7	○ 44.7	○ 49.7	○ 55.5
		R6市	○ 21.7	○ 24.5	○ 28.2	○ 31.8	○ 36.0	○ 40.9	○ 45.6	○ 50.7	○ 55.4
		R7市	116.0	122.0	127.9	134.1	141.1	147.8	152.6	155.2	156.7
	体重 kg	R6国	○ 115.8	○ 121.8	○ 127.7	○ 134.1	○ 141.1	○ 147.8	○ 152.3	○ 155.0	○ 156.4
		R6県	○ 116.2	○ 121.9	○ 127.9	○ 134.3	○ 141.5	○ 148.6	○ 152.4	○ 155.2	○ 156.6
		R6市	○ 115.9	○ 122.0	○ 128.0	○ 134.3	○ 141.3	○ 148.0	○ 152.4	○ 155.3	○ 156.7
R7市	21.2	24.1	27.2	30.9	35.4	40.6	44.9	47.9	50.5		
R6国	○ 21.0	○ 23.7	○ 26.9	○ 30.5	○ 35.0	○ 40.1	○ 44.4	○ 47.5	○ 49.6		
R6県	○ 21.1	○ 23.8	○ 27.1	○ 30.6	○ 35.3	○ 40.8	○ 44.5	○ 47.7	○ 49.9		
R6市	○ 21.3	○ 23.9	○ 27.1	○ 30.9	○ 35.5	○ 40.5	○ 44.5	○ 48.1	○ 50.0		

○ 比較した際にR7市平均値が上回った項目

集計 教育局学校教育部学校保健課

表2 新体力テスト平均値の調査結果

※ R7年度市平均値と各記録の比較標記(○ × -)は、記録の前に提示

〈男子〉

○ R7市平均値が上回っているもの × R7市平均値が下回っているもの - R7市平均値と同数値のもの

項目	年度	小 学 校						中 学 校		
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
握力 (kg)	R7市	9.19	10.83	12.60	14.33	16.23	19.28	23.62	29.68	34.81
	R6国	○ 8.92	○ 10.47	○ 12.36	○ 14.30	○ 16.09	× 19.31	× 24.29	○ 29.46	○ 34.41
	R7県	○ 8.82	○ 10.47	○ 12.09	○ 13.98	○ 15.97	○ 18.85	○ 23.55	○ 29.57	○ 34.64
	R6市	× 9.20	× 10.84	○ 12.52	○ 14.29	× 16.38	× 19.39	○ 23.20	○ 29.58	○ 34.75
上体起こし (回)	R7市	12.05	15.42	17.52	19.49	21.23	22.80	24.92	28.54	30.81
	R6国	○ 11.62	○ 14.20	○ 16.19	○ 18.17	○ 19.81	○ 22.45	○ 23.81	○ 26.72	○ 29.02
	R7県	× 12.38	× 15.62	× 17.82	× 19.67	× 21.39	× 22.94	○ 24.81	○ 28.39	○ 30.54
	R6市	× 12.21	○ 14.68	○ 17.27	○ 18.73	○ 20.56	○ 22.55	○ 24.76	× 28.58	× 31.14
長座体前屈 (cm)	R7市	27.39	29.48	31.30	33.45	35.93	39.00	45.01	49.96	54.34
	R6国	○ 26.42	○ 28.41	○ 30.41	○ 31.87	○ 33.41	○ 36.48	○ 41.72	○ 45.21	○ 48.99
	R7県	○ 27.18	○ 29.12	○ 31.26	○ 33.22	○ 35.50	○ 37.99	○ 43.55	○ 49.28	○ 53.08
	R6市	○ 26.96	× 29.63	× 31.35	○ 33.38	× 36.24	○ 38.72	○ 43.39	○ 49.23	× 54.36
反復横とび (点)	R7市	28.17	32.64	35.27	39.72	43.17	46.63	48.79	53.24	56.09
	R6国	○ 27.23	○ 31.06	○ 34.52	○ 39.07	○ 42.07	○ 45.91	× 50.18	× 53.43	× 56.57
	R7県	○ 28.09	○ 32.25	× 35.73	× 39.83	× 43.40	○ 46.22	○ 48.37	○ 52.47	○ 55.19
	R6市	× 28.43	○ 31.86	○ 34.94	○ 38.77	○ 42.82	○ 46.20	× 48.86	× 53.46	× 56.33
持久走 (分・秒)	R7市							7'15"	6'39"	6'22"
	R6国							× 7'04"	× 6'31"	× 6'18"
	R7県							× 7'08"	× 6'33"	× 6'18"
	R6市							× 7'12"	○ 6'41"	○ 6'25"
20mシャトルラン (回)	R7市	19.08	29.54	36.69	44.24	49.24	56.25			
	R6国	○ 17.95	○ 27.26	○ 34.85	○ 43.71	× 50.51	× 59.96			
	R7県	× 21.04	× 31.12	× 39.00	× 45.99	× 52.38	× 58.81			
	R6市	× 20.67	○ 28.68	○ 35.76	○ 41.62	○ 48.95	○ 55.46			
50m走 (秒)	R7市	11'59	10'75	10'23	9'80	9'45	9'02	8'65	7'97	7'51
	R6国	- 11'59	× 10'69	× 10'19	× 9'70	× 9'38	× 8'90	× 8'41	× 7'82	× 7'47
	R7県	○ 11'60	○ 10'76	× 10'21	× 9'78	× 9'40	× 8'96	× 8'59	× 7'91	- 7'51
	R6市	× 11'55	○ 10'82	○ 10'24	× 9'79	× 9'44	× 8'95	× 8'64	- 7'97	○ 7'58
立ち幅とび (cm)	R7市	115.61	126.88	136.74	146.15	153.14	164.74	181.72	202.67	219.00
	R6国	× 116.02	○ 126.53	○ 135.44	○ 145.59	× 154.01	× 166.56	× 187.07	× 203.20	○ 216.97
	R7県	○ 115.44	× 127.13	× 137.29	○ 146.06	× 154.62	× 165.61	× 182.65	○ 202.31	○ 216.49
	R6市	× 115.88	○ 126.41	× 136.82	○ 144.27	× 153.77	○ 164.42	× 184.11	× 204.25	○ 218.29
ボール投げ (m)	R7市	7.85	10.58	13.45	16.47	19.14	22.77	17.80	21.92	24.31
	R6国	× 8.34	× 11.80	× 15.05	× 18.95	× 21.67	× 25.67	× 18.38	○ 21.36	○ 23.96
	R7県	× 8.11	× 11.03	× 14.14	× 17.17	× 20.03	× 23.34	× 17.83	○ 21.49	○ 24.25
	R6市	× 7.98	○ 10.48	× 13.61	○ 16.39	× 19.46	○ 22.41	○ 17.63	○ 20.92	○ 24.30

〈女子〉

項目	年度	小 学 校						中 学 校		
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
握力 (kg)	R7市	8.55	10.21	11.90	13.70	16.07	19.14	21.65	23.57	25.45
	R6国	○ 8.42	○ 9.95	○ 11.65	○ 13.58	○ 15.99	× 19.36	○ 21.45	× 23.58	○ 25.29
	R7県	○ 8.35	○ 9.90	○ 11.51	○ 13.38	○ 15.85	○ 18.77	○ 21.42	× 24.09	× 25.54
	R6市	× 8.72	- 10.21	○ 11.75	× 13.83	× 16.35	× 19.38	○ 20.89	× 23.94	○ 25.38
上体起こし (回)	R7市	11.44	14.60	16.67	18.75	20.34	21.52	22.44	24.21	25.38
	R6国	○ 11.07	○ 13.18	○ 16.12	○ 17.10	○ 18.86	○ 20.15	○ 20.10	○ 22.07	○ 23.92
	R7県	× 11.77	× 14.92	× 17.05	× 18.86	× 20.59	× 21.66	○ 22.15	× 24.67	× 25.76
	R6市	× 11.80	○ 14.10	○ 16.39	○ 18.00	○ 19.96	○ 21.27	○ 21.53	× 24.30	× 26.13
長座体前屈 (cm)	R7市	29.54	32.79	34.97	37.41	41.18	44.44	49.42	51.83	53.92
	R6国	○ 29.06	○ 30.94	○ 33.18	○ 35.17	○ 38.34	○ 41.21	○ 44.65	○ 46.46	○ 49.79
	R7県	× 29.69	○ 32.27	○ 34.80	○ 37.29	○ 40.41	○ 43.40	○ 47.15	○ 51.50	○ 53.63
	R6市	× 29.69	○ 32.66	○ 34.65	× 37.75	○ 41.17	× 44.78	○ 46.73	○ 50.84	× 54.30
反復横とび (点)	R7市	26.50	30.64	32.63	37.63	41.35	43.81	45.23	47.20	48.07
	R6国	○ 26.35	○ 29.57	× 32.92	○ 37.08	○ 40.38	○ 42.95	× 45.77	○ 47.05	× 48.80
	R7県	× 26.67	○ 30.34	× 33.69	× 37.69	× 41.36	○ 43.78	○ 44.67	○ 46.84	○ 47.31
	R6市	× 26.89	○ 30.14	× 32.92	○ 37.01	○ 40.62	○ 43.71	○ 44.88	× 47.28	× 48.82
持久走 (分・秒)	R7市							5'15"	5'03"	5'01"
	R6国							× 5'14"	× 4'59"	× 4'55"
	R7県							× 5'11"	× 4'56"	× 4'56"
	R6市							- 5'15"	× 5'02"	× 4'56"
20mシャトルラン (回)	R7市	15.84	23.14	27.13	34.08	39.99	43.97			
	R6国	○ 15.29	○ 21.30	× 27.59	○ 33.63	× 40.01	× 45.55			
	R7県	× 17.57	× 24.30	× 29.78	× 35.81	× 42.18	× 46.65			
	R6市	× 16.95	○ 22.27	× 27.17	○ 32.41	○ 39.31	× 44.35			
50m走 (秒)	R7市	11'95	11'16	10'62	10'16	9'71	9'33	9'17	8'89	8'79
	R6国	- 11'95	× 11'07	× 10'43	× 10'04	× 9'64	× 9'24	× 9'07	× 8'80	× 8'66
	R7県	× 11'92	× 11'14	× 10'58	× 10'10	× 9'65	× 9'26	× 9'11	× 8'78	× 8'70
	R6市	× 11'91	- 11'16	× 10'60	× 10'13	× 9'69	× 9'23	○ 9'20	○ 8'90	× 8'74
立ち幅とび (cm)	R7市	107.55	117.90	127.50	137.62	145.45	154.39	166.09	172.22	175.83
	R6国	× 108.22	- 117.90	× 128.02	○ 136.04	○ 145.38	× 155.61	× 166.43	× 172.38	× 176.79
	R7県	× 107.86	× 118.36	× 128.80	× 138.31	× 147.48	× 156.33	○ 165.39	× 173.47	○ 175.23
	R6市	× 107.79	○ 117.70	× 128.32	○ 136.66	× 146.17	× 155.93	○ 165.55	× 173.12	× 177.85
ボール投げ (m)	R7市	5.55	7.23	8.90	10.72	12.70	14.29	11.72	13.45	14.54
	R6国	× 5.69	× 7.37	× 9.47	× 11.57	× 13.56	× 15.68	○ 11.43	○ 13.14	○ 14.38
	R7県	× 5.70	× 7.32	× 9.29	× 11.18	× 13.18	× 15.04	○ 11.68	× 13.58	× 14.55
	R6市	× 5.60	× 7.24	× 8.99	× 10.90	× 12.85	× 14.43	○ 11.24	○ 13.21	× 14.68

<私の教育実践>

「児童の意欲を喚起する『総合的な学習の時間』授業実践～外部人材を活用した体験活動を通して～」

川口市立新郷小学校 教諭 齋藤 尋

1 はじめに

「福祉」をテーマにした探究活動



本校の所在地である川口市新郷地区は、市内の中でも高齢者世帯率が高く、多くの社会福祉施設が存在する。そのため、地域の福祉をサポートするために多くの人が働いており、施設や行政機関だけでなく、地域の中でも互いに助け合い、支え合える人材の育成が求められている。このような地域の実態を踏まえ、本実践では外部人材を積極的に活用し、多くの体験活動を実施できるようにした。本稿では、体験活動を通して生まれた児童の「思い」などの内発的な動機を大切に、そこから課題を設定することを意識した授業実践を紹介する。

2 活動の流れ

障害のある方や高齢者、及び支援等を行っている人々と関わったり、自身で体験したりする活動を通して、生活における不自由さに気付き、自分たちができることを考え、「共生社会」の実現に向けて行動することができる人材の育成を目指し、以下のような活動の流れを計画した。

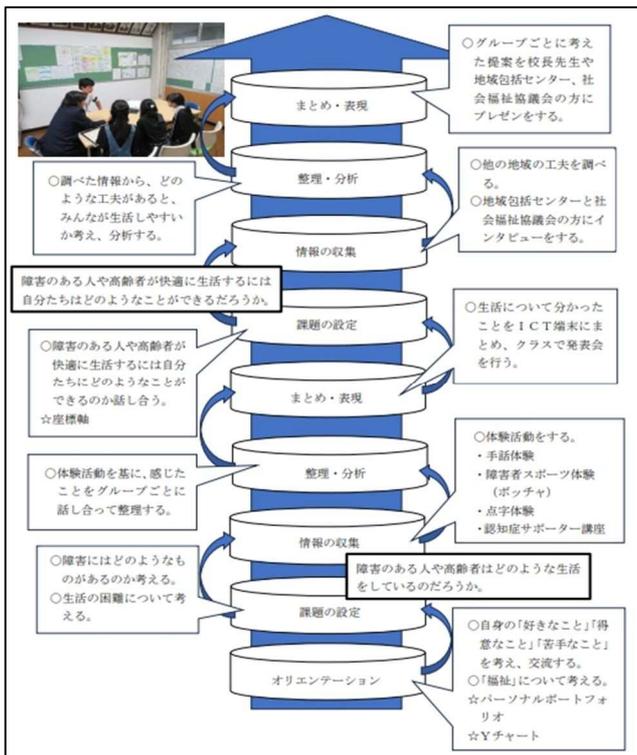


図1 活動の流れ

3 活動の実際

(1)問題を自分事として捉えることのできる課題の設定

単元の導入において、自分自身のことを見つめ直すために「パーソナルポートフォリオ」を作成した。個人で自分自身のことを振り返り、その後、全体で交流させることで、人間誰しもが「得意なこと」と「苦手なこと」があることを改めて認識し、障害のある方や高齢者に対して、先入観にとらわれずに向き合えるようにした上で、学習を進めるようにした。

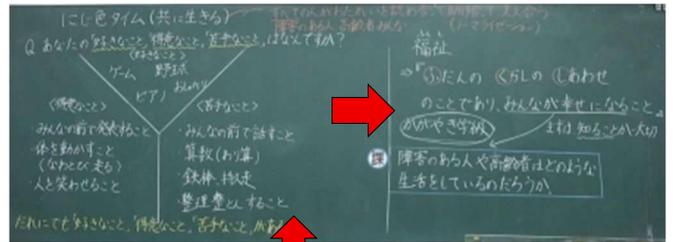


図2 板書



Yチャートを活用して、「得意なこと」と「苦手なこと」を分類して板書することで、どちらも同じくらい存在していることを可視化した。

(2)児童の気づきや思いを生かした課題の設定

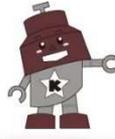
外部人材の方々の協力を得て、充実した体験活動（手話体験、障害者スポーツ体験、点字体験、認知症サポーター講座）を行った。これらの体験を通して、児童は、障害のある方や高齢者の生活を意識するようになり、「もっと手話を勉強したい」「自分ができることを考えたい」といった主体的な思いが生まれ、次の課題設定につなげることができた。

4 おわりに

探究学習という学びのプロセスを通じて自分で考え、協働し、問題を解決する力を養うことは、これからの社会に必要なスキルを身につけるための重要なステップである。児童が今後、実社会で直面する課題に対応できる力を育てるためにも、これからも研究を続けていきたい。

教育ルポ

上青木南小学校



書初め会



先生シャッフル読み聞かせ



人参の間引き (学校ファーム)



令和7年度川口市優秀教職員表彰



吉田 豪
(朝日西小)

村上 綾
(戸塚小)

贄田 尚美
(本町小)

福田 絵美
(根岸小)

坂本 巧
(青木中央小)

福地 智子
(仲町中)

菊地 孝至
(市立高)

阿部 佳恵
(八幡木中)

